

2026年度 春学期 開講科目「建築史B」についての概要説明

科目名	建築史B	担当者	温 静
授業の主旨 (概要)	古代から中世・近世に至る人類文明の長い時間軸を通して、建築がどのように誕生し、発展し、文明間の交流の中で変容してきたかを学ぶ。あわせて、日本建築が東アジア建築文化圏および世界建築史の中でどのような位置を占め、多様な文明交流の中で形成されてきたかを理解する。		
具体的達成目標	建築物そのものの形式理解にとどまらず、社会・技術・宗教・政治・経済が織りなす文明の総合的な仕組みとして歴史を捉え、建築がどのような要因によって生まれ、変化してきたかを説明できる「マクロな歴史観」を身につける。		
授業方法	講義を聴いてノートを整理し、中間レポートと期末レポートの2点を提出することとする。また、日頃から予習・復習に努め、興味をもった建築について主体的に調べる姿勢が望まれる。		

※ 15回の授業計画・参考文献等の詳細は、3月中旬に公開予定のシラバスに記載。
指定の教科書はない。